

地盤工学会関東支部
中空ねじりによる液状化強度試験の高精度化に関する研究委員会
2022年度 第2回委員会 議事録

【開催日時, 場所, 出席者】

日 時	2022年6月21日(火) 10:00~11:10					開催方法	Zoom 会議	
委員長	清田 隆	○	幹 事	三上 武子	○	委 員	石川 敬祐	○
委 員	石橋 利倫	○	委 員	岩本 哲也	○	委 員	海野 寿康	×
委 員	大矢 陽介	○	委 員	荻野 一彦	○	委 員	掛川 智仁	×
委 員	金井 勇介	○	委 員	加茂 由紀彦	○	委 員	規矩 大義	×
委 員	久保 裕一	○	委 員	隈元 隆	○	委 員	沢津橋 雅裕	○
委 員	新垣 芳一	○	委 員	仙頭 紀明	○	委 員	瀧原 徹也	○
委 員	谷本 俊輔	○	委 員	豊田 浩史	○	委 員	西尾 竜文	○
委 員	西村 聡	○	委 員	野坂 知正	○	委 員	橋本 精一郎	×
委 員	平松 登史樹	○	委 員	藤井 紀之	○	委 員	安 浩輝	○
委 員	吉田 望	○	委 員	志賀 正崇	○			

○：出席，△：未定，×：欠席，□：代理出席

【配付資料】

資料 2022-2-1 : 2022年度第2回委員会 議事次第

資料 2022-2-2 : 2022年度第1回委員会 議事録案

資料 2022-2-3 : 一斉試験参加機関リスト

資料 2022-2-4 : 今後の進め方について

【議事内容】

1. 議事録案の確認 (三上, 資料 2022-2-2)

出欠確認が十分にできなかったため, 参加情報に間違いがある場合は三上まで連絡する。

また, 内容に間違い, 漏れがある場合も1週間をメドに三上まで連絡することになった。

2. 一斉試験について (三上, 資料 2022-2-3)

- ・ 18 機関から参加申し込みがあったこと, マニュアル, 実験試料, ノズルを参加機関に送付し, 5/11 に一斉試験がスタートしたこと, 現時点でマニュアルについて質問がないことを三上から報告した。
- ・ 参加表はないか (清田委員長)。⇒まだ作っていない (三上)。

3. 委員会の設置期間について（三上，資料なし）

A 案：現在の委員会を継続する：審議事項のため、「期間延長願」を作成し関東支部研究委員会グループリーダー幹事の伊藤先生（東京都市大学）に提出⇒関東支部運営委員会で審議、手順を踏む必要がある。

B 案：成果普及活動委員会に移行する：報告事項のため、メール等で伊藤先生に「成果普及活動を行う」と報告するだけで良い。設置期間は1年が目安。

- ・A 案として期間延長を申請する。『期間延長願』は吉田委員が作成する。

⇒期間延長が承認された。新しい期間は2024/3。

4. 今後の進め方について（清田委員長，資料2022-2-4）

今後の進め方と報告書目次案・分担について清田委員長より説明がなされた。

- ・参加機関向けアンケートの作成についてグーグルフォーム等のフォームを使用するか word で作成するかは、これから検討する。
- ・報告書目次案の「結果と考察」の項目、分担は今後の状況により変更となる可能性がある。
- ・空中落下法による供試体作製において落下高さをいくらに設定したか、事前のキャリブレーションを実施したか、実施した場合はキャリブレーション結果（落下高さ－密度の関係）を参加機関向けアンケートの質問に追加することとなった。
- ・室温や湿度等の試験環境に関する質問もアンケートに追加する。
- ・来年度の地盤工学会年次大会の DS のタイミングで報告書をアピールできれば良い。
- ・GeoKanto2022 の研究委員会活動報告にて速報を行う。
- ・役割分担について承認された。
- ・地盤工学会年次大会 DS は TC101 との共催として申請する⇒TC101 の承認を得た。
- ・報告書作成の参考資料として過去の一斉試験報告書をマイポケットに保管する（担当：三上）。

【次回の予定】

日時：2022年10月26日（水）

開催方法：Zoom

主な議題：各担当の進捗確認